

(平成29年6月作成)

事務事業評価シート

(H.29)No.	1269	(H.28)No.	1269
-----------	------	-----------	------

事務事業名	教育研究事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	教育センター	上谷 典秀	

会計区分	事業コード	469001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	教育研究事業	
項 教育総務費	(小事業名)	
目 教育振興費	教育研究事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
	基本施策	1	生きる力を育む教育の推進
	施 策	1	学校教育
重点プロジェクト	2.若者定住促進プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
現在抱えている様々な教育課題に迅速かつ適切に対応していくために、より質の高い教育を実践できる教職員の育成や学校・園、家庭をきめ細かく支援する等、教育力の向上を目指します。
事業内容
「子どもの育ち・学びへの支援」「教育に関する調査・研究」「教職員への支援」「学校と地域や家庭との連携への支援」「教育情報・資料の収集・提供」の5つの機能を提供します。充実を図ります。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)	
主な事業の実績・計画	・教育相談事業・教育講演会、研修講座、家庭教育講座等の実施・プロジェクト研究・児童生徒支援事業・適応指導教室の運営・週末教育事業・発達支援教室・学校支援ボランティア推進事業・教育センターアドバイザー事業等 旅費 46千円 需用費 1,019千円 委託料 63千円 使用料及び賃借料 475千円 報償費 3,342千円 負担金補助及び交付金 5千円	・教育相談事業・教育講演会、研修講座、家庭教育講座等の実施・プロジェクト研究・児童生徒支援事業・適応指導教室の運営・週末教育事業・発達支援教室・学校支援ボランティア推進事業・教育センターアドバイザー事業等 旅費 50千円 需用費 1,077千円 委託料 80千円 使用料及び賃借料 488千円 報償費 3,650千円 負担金補助及び交付金 5千円	「子どもの育ち・学びへの支援」「教育に関する調査・研究」「教職員への支援」「学校と地域や家庭との連携への支援」「教育情報・資料の収集・提供」の5つの機能を提供します。充実を図ります。 H.30年度(事業計画) H.31年度(事業計画) H.32年度(事業計画) 各事業を充実させ、さらに有効な教育的支援を行います。

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		4,949千円		5,350千円	5,600千円	5,600千円	5,600千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	0	4,949	0	5,350	5,600	5,600	5,600
人工数							
職員		1.98人		1.98人	1.98人	1.98人	1.98人
臨時職員等		4.22人		4.62人	4.62人	4.62人	4.62人
②概算人件費	0千円	22,024千円	0千円	22,704千円	22,704千円	22,704千円	22,704千円
①+②総事業費	0千円	26,973千円	0千円	28,054千円	28,304千円	28,304千円	28,304千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度(取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
研修・研究及び教育相談を実施することにより、子どもの豊かな学びを保障するとともに、学校教育・家庭教育を支援することができました。教職員への支援としての研修講座等を運営し、教職員の授業力を向上させることにより、学校の教育力を高め、学校教育に満足している市民の割合を高めます。市民にセンターの機能や事業の実施に係る情報を的確に提供し、学校と地域づくり組織との連携を側面からサポートします。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(拡大)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
第二次名張市子ども教育ビジョンに基づき、高度で広範な機能の充実や事業展開を進めます。講座実施後のアンケート等をもとに事業内容を見直し、サービスの向上に努めます。名張市の教育の今日的課題及び中長期的課題に即して、研修の内容や回数、方法等を検討、改善してセンター機能の充実を図ります。	第二次名張市子ども教育ビジョン